

外国特許トピックス

2020年7月
特許業務法人 志賀国際特許事務所
(外国事務部 加藤基志)

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
外国特許出願に関し、最近のトピックス等をお知らせいたします。

2019年の欧州特許出願統計

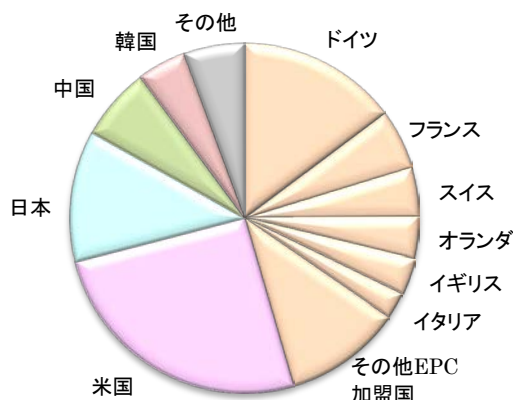
2019年における欧州特許出願統計が欧州特許庁より公表されました。今回はこの公表された情報に基づき、欧州特許出願の概況について紹介いたします。

1. 出願件数

2019年の欧州特許出願件数は、181,406件と発表されました。これは前年(確定数値174,481件)との比較で4.0%増でした。ルート別内訳では、通常出願ルートが75,740件(前年比4.9%増)、PCTルートが105,666件(前年比3.3%増)となりました。

2. 上位出願国(10ヶ国)

順位	国名	2019年	前年比(%)	全体占有率
1	米国	46,201	+5.5%	25.5%
2	ドイツ	26,805	+0.5%	14.8%
3	日本	22,066	-2.3%	12.2%
4	中国	12,247	+29.2%	6.8%
5	フランス	10,163	-2.9%	5.6%
6	韓国	8,287	+14.1%	4.6%
7	スイス	8,249	+3.6%	4.5%
8	オランダ	6,954	-2.6%	3.8%
9	イギリス	6,156	+6.9%	3.4%
10	イタリア	4,456	+1.2%	2.5%
-	その他EPC加盟国	19,710	+2.6%	10.8%
-	その他	10,112	+3.6%	5.5%
	合計	181,406	+4.0%	100.0%



2019年の出願上位10ヶ国は上記のとおりです。中国は2018年において過去5年間で最も低い伸び率でしたが、2019年は前年比で29.2%増加し順位を1つ上げて4位となりました。技術分野別の出願件数において、最も出願件数が多い上位3分野はデジタル通信(14,175件/前年比+19.6%)、医療技術(13,833件/前年比+0.9%)、コンピュータ技術(12,774件/前年比+10.2%)でしたが、中国はデジタル通信においてアメリカ(3,684件)やEPC加盟国合計(3,593件)よりも多い3,736件(前年比+64.6%)、コンピュータ技術において1,356件(前年比+18.7%)と、伸びのある技術分野で大きく躍進しました。

3. 上位出願人(10社)

順位	出願人名	国名	2019年	前年比(%)
1	Huawei Technologies Co. Ltd	中国	3,524	41.8%
2	SAMSUNG GROUP	韓国	2,858	16.7%
3	LG GROUP	韓国	2,817	18.6%
4	UNITED TECHNOLOGIES CORPORATION	米国	2,813	41.9%
5	SIEMENS AG	ドイツ	2,619	5.1%
6	QUALCOMM, INC.	米国	1,668	4.7%
7	L M ERICSSON AB	スウェーデン	1,616	9.8%
8	ROYAL PHILIPS	オランダ	1,542	-4.6%
9	SONY	日本	1,512	18.3%
10	ROBERT BOSCH GMBH	ドイツ	1,498	16.5%

出願人別上位件数では、2018年に首位陥落したHuaweiがトップに返り咲きました。技術分野別でもデジタル通信でHuaweiが群を抜いて出願件数が多く(2,260件/前年比+47.2%)、上記国別件数の中国の躍進に大きく貢献

しているようです。しかし、欧州では現時点でイギリスとフランスが次世代通信規格「5G」におけるHuawei製品を排除する方向です。他の欧州主要国の態度により今後の中国の欧州特許出願件数に影響がありそうです。

4. 欧州特許庁の新戦略計画(SP2023)

欧州特許庁は2019年6月に新戦略計画(SP2023)をスタートしました。現在、優秀な人材の雇用、柔軟な労働力を生み出すためのITシステム簡素化や近代化、出願人や権利者に寄り添った高品質サービスの提供など5つの目標を立て業務改善を目指しています。

2019年の調査、審査、異議申立について、実施件数がわずかに減少しました(421,250件/前年比-2.1%)。この点について欧州特許庁は2019年の審査官人数は前年より67人減少したことを理由に挙げています。2020年3月には新型コロナウイルス感染拡大の影響で庁期限の自動延長や口頭審理開催日延期が行われ、多くの審査官が在宅勤務を開始しました。出願件数の増加に対して欧州特許庁が今までのような処理量を維持することができるのかが気になります。SP2023の実施がすぐに統計数値など結果に現れるかは不明ですが、今後の成果を期待して注視してまいります。

以上